

南相馬ブログ新聞

<http://blog.goo.ne.jp/shigeki2121/e/3ce1b6e3a767bd-aa01343033d991a059>

ある団体の方から連絡を受けました。放射能汚染のマップ作りに、南相馬市へ来られるそうです。

その団体のホームページを見て驚きました。その中に、こう書いてありました。簡単にご紹介

放射能汚染のほとんどは、3月12日から16日にかけて降り注いだ放射性物質による影響と考えられ、4ヶ月近くたっているため現在はセシウム137(半減期30年)による影響と考えられるようです。

放射能汚染については、緊急時ではなく、定時的に、これから長年にわたって続く可能性が大きいと、原発事故が収束しようが、しまいが、通常的に放射能汚染の危険、影響があり続けるという事のように。

そうすると、避難出来なければ、ここに居続けるのなら、安全に、安心して、過ごせる、住み続ける場所を造り出していくことが、必要になるという事です。たとえば、土地や建物などを、除染するという事ですよね。

その為には、どこが危険でどこが安全なのかを調べる必要があります、その為の放射能マップのようなものが必要だということ。

何事も、リサーチが必要だということですね、それがあって初めて、復興計画での対策が出てくるのでしょう。

南相馬市から7月7日夜 2011-07-07 19:41:23

<http://blog.goo.ne.jp/shigeki2121/e/b69aa828f7ec96-3fe8fb394716a671b9>

そうでした、多くの若い家族が仙台、山形、新潟、福島、郡山、その他の地域などに避難して生活しているのですね。それぞれの家族がそれぞれの環境の中、頑張っているのです。

管総理、すごいですね。総理の権力とは恐ろしいものですね。玄海原発に大臣を行かせておいて、了解を取り付けて来たと思ったらストレステストをやり、それで安全が確認されないと再開は出来ないと、すごい、独裁者の様相ですな。

行くときに、そういった事をやるからと説明をしてくるのならわかりますが、帰って来てから言い出すのなら、その経緯を説明してほしいですね。すべてが、唐突に、行き当たりばったり、繋がりも無く、管総理の振る舞いに、多くの人たちが右往左往しながらも、なんとか政治という物は出来てしまうのですね。管総理、原発選挙でもやるつもりですかね、原発を稼働させるか、否か、と聞かれても、誰だって危険だとわかってしまっ

インターネット上のブログ(日記の一種:掲載許可済み)等からの転載です。執筆者は南相馬市関係の方(滞在の方・避難された方等)が主体です。**内容は個人の意見であり公のものではありません**、同じ市民同士の生の意見として参考までとしていただきたいと思います。**正式な指針は政府**が出します、そちらにしたがう事で各種補償も受けられます。どうぞその点を誤解なきようお読みください。

編集・発行 NPO ながおか生活情報交流ねっと soiga01@gmail.com、今まで協力いただいた先(判明している所のみ):長岡大学、同学生有志、長岡技術科学大学ボランティアサークル、飯田ボランティア協会、山古志村のマリ 配布協力避難所:新潟県長岡市内・湯沢町内・見附市内・小千谷市内、長野県飯田市内・豊丘村内、ほか

新聞 PDF 置場 <http://www45.atwiki.jp/soiga/pages/137.html>

4ヶ月 東北の関西人

被災者と被災地で働く全ての人々がまた普通の生活に戻れますように。 2011-07-07

<http://ameblo.jp/morimarion/entry-10945844037.html>

もうすぐ4ヶ月が経とうとしているのにまったく何も進んでいない原発処理 いったいどうなってるのか

日本ってもっとマシな国じゃなかったのか

誰が何に就任しようが辞任しようが勝手だけれど よく偉いさんが口にする

「被災者の寄り添った」対応をする人間はいないのか

そんなに利権だけが大事なのかなんだか悲しくなってくる

個人レベルの被災者支援の輪は確かにあってみんな尽力してくれているのに国がまったくそれに追いついていない 本当は上が真っ先にやらなければいけないことを何もしていない

何度でも言う 日本、政治家、しっかりしてくれ

私たちの国をもっと支えてくれ

守ってくれ、この国を 返してくれ、美しいこの国を

#####

南相馬市から7月7日朝 サイヤ社長のブログ

福島県南相馬市で青果食品惣菜スーパー「Saiya」を営んでいます。新鮮な話題をお届け！ 2011-07-07 05:17:17

た原発を良いとは言えないですよ。

今、管さんが総理で居られるのは、衆議院選挙で民主党が勝ったからですが、あの選挙は小沢、鳩山、管、が協力して戦い、いろんなマニフェストを掲げて、自民党ばかりでなく、たまには変えてみるのもいいだろうと、国民が民主党に入れたのでしょ。

良い悪いは別にしても、小沢さんの力が貢献したのも事実ですよ。

参議院選挙はどうだったでしょうか、管総理での選挙でしたが、負けましたよね、当然です、衆議院選挙で消費税は4年間は上げず無駄を徹底的に排除すると、言っていましたが、総理になった途端、消費税を上げる事が必要だと言い出して、負けましたよね。

当然ですよ、公約と違うから、あの時から、迷走総理の道を走り続けているようです。

やはり総理になるための見識も無ければ、素質も無く、準備不足だったようです。

準備不足だから、チャンスに巡りあっても、成功には導かれない。

政治家には非難、批判を浴びても、責任を取る覚悟で決断してほしいものです。ストレステスト？結局、自分では決断出来ないから、言い訳を作ろうとしているようにしか見えませんが、管総理の覚悟が伝わって来ないのは、選挙で勝って総理になったわけではないからなのかな。今の管総理に野党だった頃の議員がどんな質問をするのか見てみたいですね。

#####

一時帰宅(一時立入り)を終えて・・・素朴な疑問 その一 負けてらんこえ！みんなでなんとかさっすべ！！

南相馬市から新潟県三条市へ集団避難した者たちの現地報告です。 2011-07-07 07:47:14

<http://blog.goo.ne.jp/minamisoumashi-hinan/e/619cb7a837e5eef3cf032b5613d9f3f>



6月28日(火) 福島第一原発から20km圏内に設定された警戒区域に係る一時立入りがありました。

行程のあらまはは 次の通りでした。

04:30 三条市 集合場所 (総合運動公園)

↓

バス

↓

1. 南相馬市 中継基地(馬事公苑)で準備・説明 … 一時立入りは 準備を含めて5時間程度 ↓

2. 専用バス (引率者 放射線管理者同乗) ↓

3. 居住地区 自宅 (約2時間)立入り ↓

4. 専用バス (引率者 放射線管理者同乗) ↓

5. 南相馬市 中継基地(馬事公苑)・・・スクリーニング・除染 ↓

↓

バス

↓

(21:30) 三条市 解散場所 (総合運動公園)



三条市から南相馬市へ 途中の飯館村は静かです



1. 中継基地で準備・説明

自治体からは「特に本日は『警戒区域』への立入りであり … 」としながら

(イ) 原子力災害対策本部からは

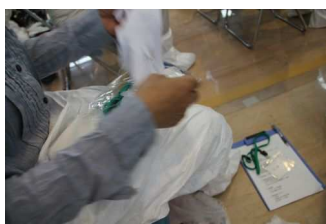
「… 熱中症予防のため、長袖 長ズボンを着用してされている方については、防護服を着用いただく必要はないものとします … 」と 何故か … 何度も強調します。

(ロ) 厚生労働省医療班の医師とおぼしき人から 健康に関わる説明がありましたが 何故か … その人ひとりだけ 場違いとも思える半袖シャツ姿。

背には「厚生労働省医療班」と大きく明示してあります。



(ハ) 東京電力が 防護服着用の実演指導
 何故か・・・モデルは防護服を着用せず 足元だけです。
 (ニ) 県警からは「盗難被害があったら 盗難届を提出して
 下さい」 何故か・・・ただ それだけです。
 盗難防止の施策を こうしているとの話しは全くありません。
 訊けば・・・「警戒区域」のため入れない とお答えになるの
 でしょうね。
 はてさて「警戒区域」の警戒とは 放射能のことだけでしょう
 か。避難している住民の財産を守る警戒も含まれていると思う
 のですが。
 まして なんとでも「放射能は低い」とおっしゃりたい「小高
 区」ですゾ。
 避難所においても 荒らされた実際の情報が多々入ってまいり
 ますのに。



#####

緊急時避難準備区域の指定見直しについて

ゆっ太郎 (2011.07.06 10:00)

相双ゆたどさ ゆったりが、どっさり。～ふくしま相双～

<http://yumesoso.jp/yutadosa/archives/3323.html>

東京電力原子力発電所から 20～30km 圏の緊急時避難準備
 区域の指定見直しが 7/17 以降で検討されるとの報道がなさ
 れました。



「緊急時避難準備区域指定の解除は復興のために必要」と述
 べた、ある市長。

区域指定が解除されれば地域外、遠く県外へ避難されていた
 相双の皆さんが戻れるのか。

子どもたちを本当に安全に安心して遊ばせることができるの
 か。

緊急時避難準備区域とはどういった地域への国の指定であっ
 たのか。

【経済産業省】原子力安全・保安院 原子力安全広報課
 計画的避難区域、緊急時避難準備区域の設定

(URL:<http://www.meti.go.jp/press/2011/04/20110422004/20110422004.html>)

『「計画的避難区域」及び「緊急時避難準備区域」での生活に
 ついて』の改訂について

(URL:<http://www.meti.go.jp/press/2011/06/20110630003/20110630003.html>)

【首相官邸災害対策ページ】

「計画的避難区域」と「緊急時避難準備区域」の設定について
 (URL:<http://www.kantei.go.jp/saigai/20110411keikakuhinan.html>)

緊急時避難準備区域について

(URL:http://www.kantei.go.jp/saigai/faq/20110415_2.html)

経済産業省の、原子力安全・保安院 原子力安全広報課が
 4/22(金)に公表し、以降訂正や差替えが行われた

『「計画的避難区域」及び「緊急時避難準備区域」の設定につ
 いて』には緊急時避難準備区域について

① 基本的な考え方

・東京電力原子力発電所の事故の状況がまだ安定していな
 いため 今後なお、緊急時に屋内退避や避難の対応が 求め
 られる可能性が否定できない状況にある。

・このため、緊急時避難準備区域においては、住民に対して
 常に緊急的に屋内退避や自力での避難ができるようにする
 ことが 求められます。 とあり、区域の範囲が示されています。

【原子力安全・保安院 原子力安全広報課】「計画的避難区
 域」及び「緊急時避難準備区域」の設定について
 (20110422004-2.pdf)

(イ) 緊急時避難準備区域

① 基本的考え方

- 福島第一原子力発電所の事故の状況がまだ安定していな
 いため、今後なお、緊急時に屋内退避や避難の対応が求め
 られる可能性が否定できない状況にある。
- このため、緊急時避難準備区域においては、住民に対して
 常に緊急的に屋内退避や自力での避難ができるようにす
 ることが求められます。

② 区域の範囲 (詳細は別添参照)

- 広野町
- 楡葉町 (20km 圏内を除く全域)
- 川内村 (20km 圏内を除く全域)
- 田村市の一部
- 南相馬市の一部

また、「指示(訂正版)」(20110422004-3.pdf)として緊急時避難準備区域以下の区域内の居住者等は常に緊急時に避難のための立退き又は屋内への退避が可能な準備を行うこと。

なお、この区域においては、引き続き自主的避難をし特に子供、妊婦、要介護者、入院患者等は当該区域内に入らないようにすること。

また、この区域においては、保育所、幼稚園、小中学校及び高等学校は休所、休園又は休校とすること。

しかし、勤務等のやむを得ない用務等を果たすために当該区域内に入ることが妨げられないが、その場合においても常に避難のための立退き又は屋内への退避を自力で行えるようにしておくこと。とされています。

② 緊急時避難準備区域

以下の区域内の居住者等は、常に緊急時に避難のための立退き又は屋内への退避が可能な準備を行うこと。なお、この区域においては、引き続き自主的避難をし、特に子供、妊婦、要介護者、入院患者等は、当該区域内に入らないようにすること。また、この区域においては、保育所、幼稚園、小中学校及び高等学校は、休所、休園又は休校とすること。しかし、勤務等のやむを得ない用務等を果たすために当該区域内に入ることが妨げられないが、その場合においても常に避難のための立退き又は屋内への退避を自力で行えるようにしておくこと。

さらに首相官邸ホームページの中に「子供、妊婦、要介護者、入院患者の方などは この区域に入らないようにすることが引き続き求められます。」と、されています。

さまざまな物議を醸した、東京電力による住民説明会では東京電力側から「現在の線量では、小さなお子さんでも健康的被害があるというわけではなく 緊急時に即避難となれば、子ども・高齢の方の避難に 支障が出る可能性があるからと認識している。」と、住民側からの質問に返答しました。

【相双ゆたどさ】: 東京電力の南相馬市民への説明会(2011.5.27:掲載)

原発事故収束・再発防止担当大臣は就任後の会見で緊急時避難準備区域の縮小について「生活はしているが、学校や医療機関が再開できていない」ことに触れ、学校・病院の再開のためには原発の再度の水素爆発の可能性がゼロとなることが前提であると基本方針を説明しました。

水素爆発の可能性が限りなくゼロに近くなるから緊急時避難の必要性も少なくなる。そうであれば、緊急時の避難に備える必要もなくなるので緊急時避難準備区域への指定解除を検討する。

ただそれだけです。

緊急時避難準備区域指定が解除されても東京電力原子力発電所事故により巻き散らされた放射性物質と、それへの不安

が払拭されるわけではありません。

地域指定解除されれば即、こどもの将来のために安全安心に暮らせる地域が戻ってくるわけではありません。

屋内退避指示の敷かれた、原発災害発生当初は避難に絶対必要なガソリンや、食料・飲料水等の物資も流通に携わる業者やドライバーから地域内へ立入ることを拒まれ対応にあられた市職員の方々が、取扱免許所持者をそれこそ必死の思いで手当てされ地域指定境まで物資引き取りに出向されました。

屋内退避が解除され、緊急時避難準備区域となって3ヶ月が立つ今日現在でも「被災地店舗の復旧に全力を掲げます」とCMした昨年12月に新店舗を建設して営業開始したばかりの全国チェーンのファストフード店は”戦略的撤退”を表明しました。

緊急時避難準備区域の指定解除は地域の復興提唱するうえでほんの一步を踏み出す足掛かりかもしれません。

しかし、指定区域解除を踏まえて復興への歩みが重ねられていくことは間違いありません。

前述引用させていただいた「緊急時避難準備区域指定の解除は復興のために必要」市長発言は放射線による子どもたちへの影響や市民の健康への被害に対する不安を軽減するためにいち早く導入を決定し、検査実施の申込予約が始まるホールボディカウンターも豊かな実りをもたらす土壌・海浜の除染実施とひとつ区域指定解除を受けてのち、この地でまた安全に安心して暮らしていけるようにするために願った『世界に影響力を持つ』とされた市長の、祈りのひとことであるはずで

「原発事故への補償は国の責任において最後まで対応」と明言された首相。

コンセンサスを得たうえでのわかりやすい発表と対策をいただきたいと思います。

#####